

県総体目前 ～「あきらめない心」と「冷静な判断力」～

いよいよ県総体の前期が5月26日から、後期が6月2日から始まります。あわせて、野球の石見地区大会、文化部では、書道部、ビジネス同好会の県大会が開催されます。日頃の練習にも熱が入っているところです。

5月17日に、壮行式を行いました。それぞれの部長から県総体等に向けた決意表明がありました。私から、県総体等に出場する生徒の皆さんに以下のような激励の言葉を贈りました。

現在島根県下では、新型コロナウイルス感染者数が高止まりの状態、この総体の実施にあたっては、感染対策をより強化した大会になりますが、実施されることをうれしく思います。

3年生にとっては最後となる大会となります。

皆さんが戦う相手も負けじと全力で挑んでくるはずです。一分・一秒、一本、一点を大切に粘り強い戦いをしてくてください。

勝つために大事なものは、「あきらめない心」と「冷静な判断力」です。バドミントンで世界ランキング1位となった桃田賢斗選手は、「苦しい時こそ、周りを見る」そうです。負けているときほど視野が狭くなり、イライラするとコーチ席を見ない選手が多いですが、桃田選手は試合中に自分で「違うな」感じる時ほど、コーチ席を見るそうです。桃田選手は、周りからの感覚や情報も参考にする能力が高く、またアドバイスを受けてその場で修正できる能力も非常に高いところがすごいところでもあります。

なかなか難しいことだと思いますが、試合で追い込まれたとき、一呼吸おいて、周りを見ることができれば、流れを変えることができるかもしれません。参考にしてください。

そして全力を尽くしたという確信を自分自身に持てる試合をして帰ってきてくれることを強く願っています。皆さんの活躍を祈っています。

